

令和8年1月13日

甲斐市水道事業管理者  
甲斐市長 保坂 武 様

甲斐市水道審議会  
会長 清水 正 二



甲斐市第3次水道ビジョン策定に伴う  
「今後の水道事業の方向性」について（答申）

令和7年7月14日付けで、当審議会に対して甲斐市第3次水道ビジョン策定に伴う  
「今後の水道事業の方向性」について諮問がありましたので、次のとおり答申します。

記

これまで甲斐市水道事業では、甲斐市第2次水道ビジョンにおいて「かけがえのない安全でおいしい水をいつまでも」を将来像として掲げ、適切な水質管理体制、水道施設の計画的な更新、水道料金の見直し等の施策を進めてきました。

一方で、市民の節水意識の向上などによる水需要の減少は続いており、今後は本市においても人口減少が進んでいくことが予測されます。

また、大規模地震等への対策についても、更なる加速化が求められていることから、今後は、これまでも見られていた課題に対する施策を継続しつつ、危機管理体制の強化、財政基盤の強化等の課題に対してより重点的に取り組む必要があります。

本審議会での審議の結果、甲斐市第3次水道ビジョン（案）に掲げる「今後の水道事業の方向性」については、以下に示す意見を付して、妥当と認めるところであります。

- ① 事業経営の健全化、水道施設の更新工事の推進を図るために、財源の確保とともに適正な技術職員の確保や育成に努めること
- ② 今後想定される大規模災害に備え、水道施設の耐震化・耐水化に係る取組を進めるほか、応急復旧・応急給水体制の強化を図ること